

新型コロナに『十味敗毒湯』の著効を発見 ～保険外適用～



(医) 白水会 白川病院 理事長・院長
 関西医大臨床教授 日本病院会総合臨床医
 日本東洋医学会専門医認定 野尻 眞

【目的】

新型コロナ感染症に十味敗毒湯が著効することを発見し、生薬構成の考察を加え報告する。現在は保険診療の適用外処方であり、承認取得が必要。

【方法】2021年8月第71回日本東洋医学会学術総会 緊急シンポジウムで発表した。

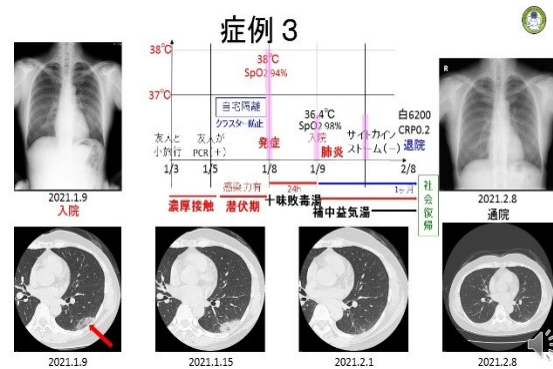
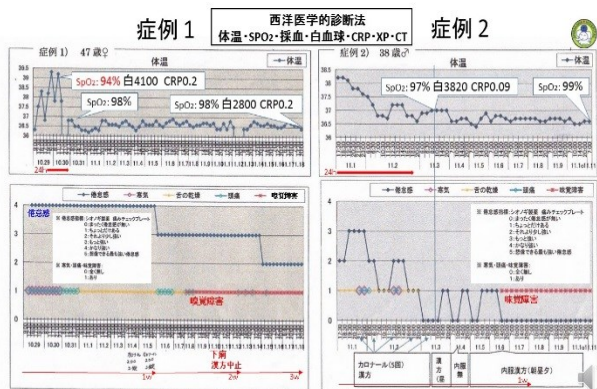
2018年6月、華岡青洲先生創薬の『十味敗毒湯』をウイルス性結膜炎に応用著効。

2020年1月新型コロナが中国武漢で発生。李文亮（りぶんりょう）眼科医が結膜病変に注目。

新型コロナウイルスは、顔の粘膜（結膜・鼻腔・口腔）気道から侵入し発病。私は皮膚と粘膜の生理学的な知識から、皮膚に効く漢方は粘膜にも効くと推論、新型コロナにも有効と仮説を立てていた。

症例 1 47歳女:2020年10月、発熱外来で抗原検査が陽性となり、診断直後より『十味敗毒湯』を処方。保健所のPCR検査で翌日陽性、他病院に入院した。翌日に38℃から36.2℃へ解熱。解熱と共にSpO2（経皮的動脈血酸素飽和度）が94%から98%へ著明に改善。発熱10日後嗅覚障害（タマネギの臭い）をきたし、20日で回復。その後退院まで胸部X線・胸部CTでコロナ肺炎を認めず酸素投与なし。21日間『軽症』隔離。白血球4,100、CRP（C反応性蛋白）0.2の正常値で退院。世界初症例であった。

症例 2 38歳男:発熱直後より『十味敗毒湯』を内服し1日で解熱。SpO2は98%を維持。白血球3,820、CRP 0.09、Dダイマー陰性で著効。発熱7日後に味覚障害をきたし、40日で回復。高次中枢機能障害は眼窩前頭皮質の障害であるが、回復した。



症例 3 50歳女:濃厚接触者として経過観察中4日目後に発熱。発熱当日から『十味敗毒湯』内服。1日で38℃から36.4℃へ解熱。SpO2も94%から98%へ改善。X線・CTにて左肺に雲状影、軽い咳はあるも全身状態は良好。『補中益気湯』を併用し漢方薬単独で肺炎像消失、酸素・点滴なしで2～3週でPCR陰性となり、1カ月で後遺症なく退院、happy hypoxia、Silent Pneumoniaがみられた。自宅待機で見落とされる呼吸不全に至りつつあったが、みごと2種の漢方のみで、1ヶ月で治癒し、brain fogもきたさず、後遺症も残さず、社会復帰した。

★十味敗毒湯⑥の有効性



- 早期発見・早期治療の3例で肺炎やサイトカインストームを来ささない。
 - ワクチン副作用にも有効。
 - 『十味敗毒湯』の250年以上の臨床経験あり **安全性は非常に高い。**
 - 予算は 1包38 円。1,596円/14日
 - ★ コロナ陽性者3症例を経験し、**レベル3**
 - ☆ 今後発熱し・PCR(+)と診断したら『十味敗毒湯』の14日処方推奨。「**自宅待機**」には必需薬品・酸素飽和度測定器と共に。
 - 『十味敗毒湯』は、漢方診断で「証」が合えば西洋医学的病名に問わず使用可。
 - 薬事法上『**適応外処方**』を国の緊急特別適応承認が必要。
 - ★ アビガン、レムデシベル、イベルメクチンは政治判断でコロナ適応で、保険収載されている。
- ⇒ 症例数や盲検数を増やし『十味敗毒湯』の**保険適応**を進めてもらいたい。

葛根湯医者はヤブ、十味敗毒湯医者は名医

【結果】

新型コロナの急性早期には、『十味敗毒湯』内服で抗炎症・抗アレルギー作用により1～2日で解熱著効。今後PCR(+)と診断したら1～7日処方、在宅待機に推奨。

医療の原点から一言

- 「**病めんものを見て、救わんとする情意を医の原点**」とする。
十味敗毒湯の効果を知った臨床医は、自宅待機で不安の中、亡くなっていった患者を見捨てるわけにはいきません。
- **漢方の製薬メーカー**は儲けるためでなく、病から人を助けるための薬を製造しており、このような場合、治験でサンプルを出せないなどは患者を見殺しにするに似たり。
- **日本東洋医学会**が臨床漢方の専門の集まりであれば、蓄積された学問で世紀の世界のパンデミックを助けるための英知を発揮してほしい。
- **日本の厚労省**は、200年前江戸時代に世界的著明な外科医華岡青洲先生が創薬された和製漢方の「十味敗毒湯」を緊急特例保険収載をして、重症者・死亡者を減らすべきである。西歐米の心ある医師が気がつけば全世界で使われる。

【考察】

『十味敗毒湯』は華岡青洲の創薬で江戸中期以来臨床応用され、安全性は高い。

予算は38円/包、安価。(1週間で約800円)

薬事法上『**適応外処方**』を『**新型コロナウイルス感染症診療の手引き・第5版**』P43レムデシベル、P46トシリズマブのように特例承認が出来ないか。

PCRで早期発見・『十味敗毒湯』で早期治療、軽い風邪症状で治癒。肺炎やサイトカインストームを来さない。ベッド不足にも有用。欧米でも歴史や地理を超えて『**日本漢方**』の素晴らしさを再認識される。尚、漢方保険収載外しの見直しも必要。

十味敗毒湯

生薬名	作用	証に関わる作用	抗ウイルス作用
荊芥	体表部の毒素の発散、消炎作用	解表	
防風	体表部の毒素の発散 気運粘膜の保護	解表	○
独活	体表の湿を取る	利水	
柴胡	清熱作用	解表	◎
桔梗	消炎排膿作用	理氣	
川芎	気を巡らせる	駆瘀血	
茯苓	胃腸の保護	利水	
甘草	構成生薬の動きを調整する	補氣	
生姜	防風の作用の増強	解表	
檳榔 椴皮	循環障害・瘀血	清熱	